

街のパン屋が思う事

私達の街、函館は、神戸や横浜と並んで日本でも古くからの港町です。

神戸や横浜と言えば、すぐに中華街や港の見える公園、異人館と函館と同じような光景を思い浮かべる人が多いと思いますが、同時に古くからパンを創りパンの文化を育んできた事でも知られる、言わば、日本のパン文化中心都市とも言える街なのです。

函館でも数多くの“街のパン屋”の職人達がパンを創り育ててきました。

今日では そこに暮らす人々にとって、毎日の食卓に彩りを添え、豊かな食文化の構成を担う、大切な食べ物になっています。

パンの香りが漂う街角、そこに暮らす人々とパンを創る私達の間深い信頼の中、パンを取り巻く様々な食材が持つ文化の知恵を知り、喜びを分かち合う、そしてそれを通じて、人として豊かに安心して生活してゆける、そんな街になるよう共に暮らす“街のパン屋”として皆さんと神戸や横浜と並ぶパンの食文化をこの街に築いてゆきたいと思っています。

君の街に 届け パンの香り